

日本にモノづくりを残していけるのか TPM

経営トップによる講演会・工場見学会

これからのモノづくりと経営者への

2025/1/21(火)
日産自動車株式会社
栃木工場メッセージ2025 栃木
TOCHIGI

企業競争力を高めるための現場環境づくり ~ニッサンインテリジェントファクトリー~

講演者情報・講演概要

基調講演

多様な人財が活躍できる日本のモノづくり現場 (Nissan production wayの実現)

日産自動車 株式会社
日本・ASEAN生産事業本部
専務執行役員

小幡 泰彦 氏

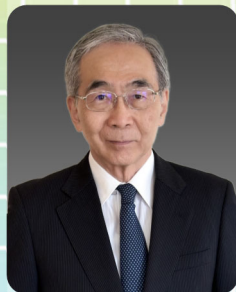
目まぐるしく変わる競争環境や今後の日本の労働人口予測などを鑑みて、**多様な人財が活躍できる現場環境づくり**というのは**競争力を高める**という観点でも必要不可欠であり、日産自動車では急ピッチで検討・実現を進めております。今回、**Nissan Production Way**の思想に基づいたモノづくり現場の取り組みや人財の育成について紹介させていただきます。

経歴

1989年	日産自動車株式会社 入社
2003年	日産自動車株式会社 車両技術部 組立技術課 主担
2008年	日産自動車株式会社 栃木工場 工務部 第一技術課長
2010年	ルノー社 出向管理職
2013年	日産自動車株式会社 車両技術本部 新車準備統括部 主管
2016年	アジア・パシフィック日産自動車会社 SVP モノづくり
2019年	日産自動車株式会社 理事 追浜工場長
2021年	日産自動車株式会社 専務執行役員(現職) 日本・アセアン生産事業本部 グローバルオペレーションマネジメント 担当

講演

モノづくりを支える皆さんへのメッセージ

元 日産自動車 株式会社
取締役副社長
(公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
TPM優秀賞審査員)

今津 英敏 氏

日産自動車栃木工場は、1984年6月に日産で初めて**TPM**を導入しました。本工場では、近年、**EV化・設備の高度化・人財育成の各課題**に対応すべく、「**ニッサン・インテリジェント・ファクトリー**」を構築してきました。この取り組みをとおして、上記課題はどう解決されていくのか、これからチャレンジすべきテーマは何かを考える導入パートです。

経歴

1972年	日産自動車株式会社 入社
1987年	日産自動車株式会社 工機工場工機設計部 主担
1993年	日産自動車株式会社 追浜工場工務部 主管
1999年	英国日産自動車製造株式会社 副社長
2002年	日産自動車株式会社 常務執行役員
2007年	日産自動車株式会社 取締役副社長
2014年	日産自動車株式会社 常勤監査役
2020年	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM優秀賞審査員(現職)

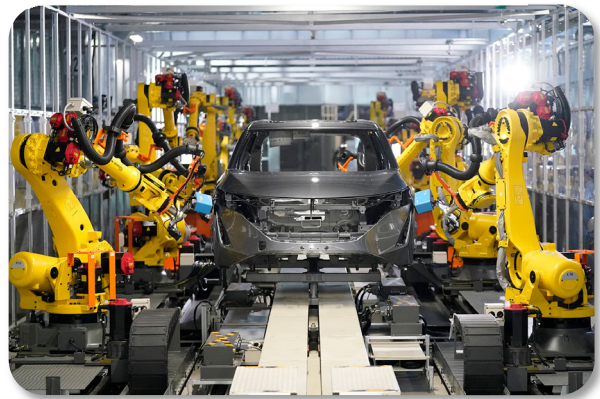
これからのモノづくりと経営者へのメッセージ2025 栃木 公式サイト

< https://info-jipm.jp/event/koremono/tfom2025_tochigi/ >

工場見学（ニッサン インテリジェント ファクトリー）概要

日産は、これまで高品質で高効率な生産工程や高い技能を持つ匠の技術により、高精度なクルマづくりを実現してきました。

しかし、生産を取り巻く事業環境は大きく変わりつつあります。従来の労働集約型の生産から脱却し、高齢化社会や深刻な人手不足に対応するための労働環境改革や、気候変動やパンデミック等の予期せぬ事態への対応が求められています。さらに、クルマの電動化や知能化、コネクテッド技術によって、クルマの機能や構造の高度化、複雑化が急速に進んでいます。



日産は、こうした環境の変化に対応し、クルマづくりのあり方を変えていく「ニッサン インテリジェント ファクトリー」を生産ラインに導入しました。

同コンセプトによって、電動化技術やコネクテッド技術を数多く搭載した次世代のクルマへの対応、匠の技を伝承したロボットによる最高品質の量産、人とロボットが共生する誰でも働きやすい職場、さらにはゼロエミッションの生産システムを実現し、脱炭素社会に向けた取り組みを加速させていきます。

※ 日産自動車公式サイトより引用

ニッサン インテリジェント ファクトリーの詳細は、**日産自動車** 公式サイトへ

< <https://www.nissan-global.com/JP/INNOVATION/TECHNOLOGY/ARCHIVE/NIF/> >

本企画の趣旨

現在、日本の製造業を取り巻く環境は、国内・外の多岐にわたる問題・課題と、それらが複雑化し、簡単には解決できない現状から、「日本にモノづくりを残していけるのか」という危機感が募っている。この日本の状況に対し、これまでさまざまな困難を乗り越え、日本の製造業の発展に貢献してきた実績ある経営者が、「従前の日本のモノづくりを振り返る」とともに、「現在の日本のモノづくりの問題・課題に対する考え方・展望」を語る

TPM

- Total Productive Maintenance の略称
- 1971年に、日本プラントメンテナンス協会より提唱（提唱から50年以上）→日本電装株式会社（現在の株式会社デンソー）と日本プラントメンテナンス協会が協力して創設。徹底的なロス排除により、利益を生む企業体質へと変革した成功事例
- 「全員参加の生産保全」として、人や現場力を成長させ、生産システム上のロスを排除し、利益を生む体質に企業を変えていく活動

- ◆ 今回の企画では、急激に変化する自動車産業からみるモノづくりの現状と課題に、製造現場では、どのように適合させているのかに焦点を当てる
- ◆ 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会では、これまで、日産自動車株式会社の経営経験をお持ちの今津氏*、本田氏*、櫻井氏*の鼎談を通じて、日本のモノづくりの競争力を維持・継続するためにどのようにすべきかをディスカッションしてきた
 - ※ 今津 英敏 氏：元日産自動車株式会社 取締役副社長・顧問
 - ※ 本田 聖二 氏：ジヤトコ株式会社 取締役会長
(元日産自動車株式会社 アライアンスSVP専務執行役員 日本生産事業本部担当)
 - ※ 櫻井 亮 氏：元日産自動車株式会社 アライアンスグループVP専務執行役員
ほか
- ◆ 日産自動車株式会社においては、自動車業界のEV化や、設備の高度化、人材育成に注力し、競争力を高めている

- ◆ そのひとつのカタチとして、「ニッサンインテリジェントファクトリー」を構築した。その際、生産マネジメントシステムである「TPM」に改めて注目している
- ◆ 日産自動車株式会社 日本・ASEAN生産事業本部 専務執行役員 小幡 泰彦 氏には、「競争力を高めるための多様な人材が活躍できる現場環境づくり」について基調講演としてご講演いただく
- ◆ 元同社 取締役副社長 今津 英敏 氏には、本講演のイントロダクションとして、近年の各課題にTPMを導入して解決してきた取り組みと、これから挑戦すべきテーマをご紹介いただく。さらに、「ニッサンインテリジェントファクトリー」の見学をとおして、具体的な取り組みをより実感していただく
- ◆ 参加者と講演者のディスカッションを設け、参加者の交流を深めていただく企画となっている

これからのモノづくりと経営者へのメッセージ2025 栃木 公式サイト

< https://info-jipm.jp/event/koremono/tfom2025_tochigi/ >

